

坂田徳男 さかた とくお 哲學者。明治二十一年十一月七日兵庫縣生れ（二八九一）。大正十一年京都帝國大學醫學部卒、昭和五年同大文藝部哲學科卒。大阪市立大入學教授。

譯著書に、デュエ・ボヤ・レーモン著『自然認識の限界（うゝゝ）』・宇宙の謎』（譯、昭和二年二月十日岩波書店「岩波文庫」）、カント著『判斷力批判』（譯、昭和七年二月二十日鐵塔書院。再刊・全一冊、上巻・十七年十一月十五日、下巻・十九年一月二十五日、二堂書房「現代叢書」）、同『人間學』（譯、昭和十一年十一月十五日岩波書店「カント著作集」）、『哲學者の言葉・希臘の卷』（速水敬二編著、昭和十二年四月二十日小山書店）、『思想の四季』（昭和十五年十一月二十五日旗社出版部）、『性格』（昭和十六年十一月二十日台揚社「現代生活叢書」）、ロズヌトシンチンデ九著『文化の省察』（共譯、昭和十七年十一月二十日弘文堂書房）、『哲學的隨想』（昭和十九年八月二十日青英書院）、ヤンリ・ベルグソン著『形而上學序説』（譯、昭和二十一年一月十五日みずが書房）、『回想の二大清』（合著・谷川徹二編、昭和二十二年一月十五日文化書院）等。

